



イメージキャラクター「ベエズ」

みなとしみず

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146(代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

「静岡県のみなとを考える市町長懇談会」開催

平成20年5月7日(水)に、港湾が所在する静岡県内の市及び町の首長の方々と、国土交通省中部地方整備局並びに静岡県が、地域の実情に応じた港湾・海岸のあり方について議論し、今後の港湾整備に反映させることを目的として、「平成20年度静岡県のみなとを考える市町長懇談会」を開催しました。

懇談会には、静岡県内の15の港湾所在市町長をはじめ、衛門久明静岡県建設部長、角浩美静岡県建設部港湾局長、富田英治中部地方整備局副局長、宮本卓次郎港湾空港部長らが出席し、「みなとまちづくり」における、港湾の役割や課題について意見交換を行いました。

意見交換の前に、仙崎達治中部地方整備局港湾計画課長より、みなと振興交付金や港整備交付金の制度の紹介、産業防災への取組など、最近の港湾を巡る情勢について紹介がありました。

各市町長との意見交換では、海岸の砂の浸食や堆積、プレジャーボート対策、中部横断道や第二東名自動車道の開通に伴う港の利活用、来春予定の富士山静岡空港開港に併せた観光資源の充実、災害により道路が寸断された場合の港の活用方法など、多方面での港に対する課題や期待についての意見が出されました。

主催者である富田英治中部地方整備局副局長からは、「スーパー中核港湾施策はもちろん重要であるが、これからは、産業や観光、地域振興の拠点となるために港がどうあるべきかに重点が移ってきている。頂いた意見をよく検討し、これからのより良いみなとづくりに役立てていきたい。」との発言がありました。

時間の制約により、必ずしも十分な意見交換ができませんでしたが、今後もいろいろな場を通じて、各市町・町長のご意見を、港の整備・発展に反映させていきたいと考えています。



各市町長からの発言の様子

ファインダーの向こう

5月に行われた黒船祭に参加しました。下田港は、今から約150年前の嘉永7年(1954年)に日米和親条約により函館港とともに我が国で初めての開港場(外国に開かれた港)に指定され、近代日本の幕開けに重要な役割を果たしました。

黒船祭は先人の功績をたたえ、さらに、国際親善に貢献することを目的として、開港80周年にあたる昭和9年(1934年)に初めて開催され、今年で69回を数えるそうです。

お祭りでは海上花火大会、記念式典、パレードなど数多くの催し物が開かれ、沢山の人々で賑わっていました。

18日に下田公園で行われた記念式典には、米国側からはドノバン駐日米国臨時代理大使、在日米海軍司令官ケリー少将、下田市の姉妹都市で、ペリー提督の出身地であるニューポート市の代表などが、日本側からは、中山泰秀外務大臣政務官、花森憲一静岡県副知事、石井直樹下田市長などが参列し、先人の遺徳を偲び、日米交流の一層の進展が祈念されました。

このような国際的な催しを毎年主催されている下田市の皆様のご努力に敬意を表するとともに、歴史のある下田港において、当事務所で整備中の防波堤の安全で効率的な事業の実施に決意を新たにしました。



「下田黒船祭」

Photo : A. Fujii

みなと振興計画認定証交付式

静岡市と静岡県の共同プロジェクトである、清水港新興津地区の「いきいき交流みなとまちづくり」計画が、国土交通省のみなと振興交付金制度の対象事業として認定され、平成20年5月7日（水）に認定証の交付式が行われました。

「みなと振興交付金」とは、知恵と工夫を凝らし、「みなと」の振興を通じて地域の活性化を図る港湾所在市町村等の取り組みを支援するための制度として、平成19年度からスタートし、平成20年度においては、全国21港20プロジェクトが新規に認定されました。

交付式には、地元の宮城島昌典清水漁業協同組合代表理事組合長、菅沼 隆静岡市清水区興津地区連合自治会長らも出席し、富田英治中部地方整備局副局長から、小嶋善吉静岡市長並びに衛門久明静岡県建設部長に、それぞれ認定証が手渡され、富田英治副局長からは、「このみなと振興交付金をみなとまちづくりに活かし、地域の今後の発展につなげて欲しい。」と挨拶がありました。



みなと振興計画認定証交付式の記念撮影

(前段左から)

宮城島昌典清水漁業協同組合代表理事組合長、小嶋善吉静岡市長、衛門久明静岡県建設部長、菅沼隆静岡市清水区興津地区連合自治会長

(後段左から)

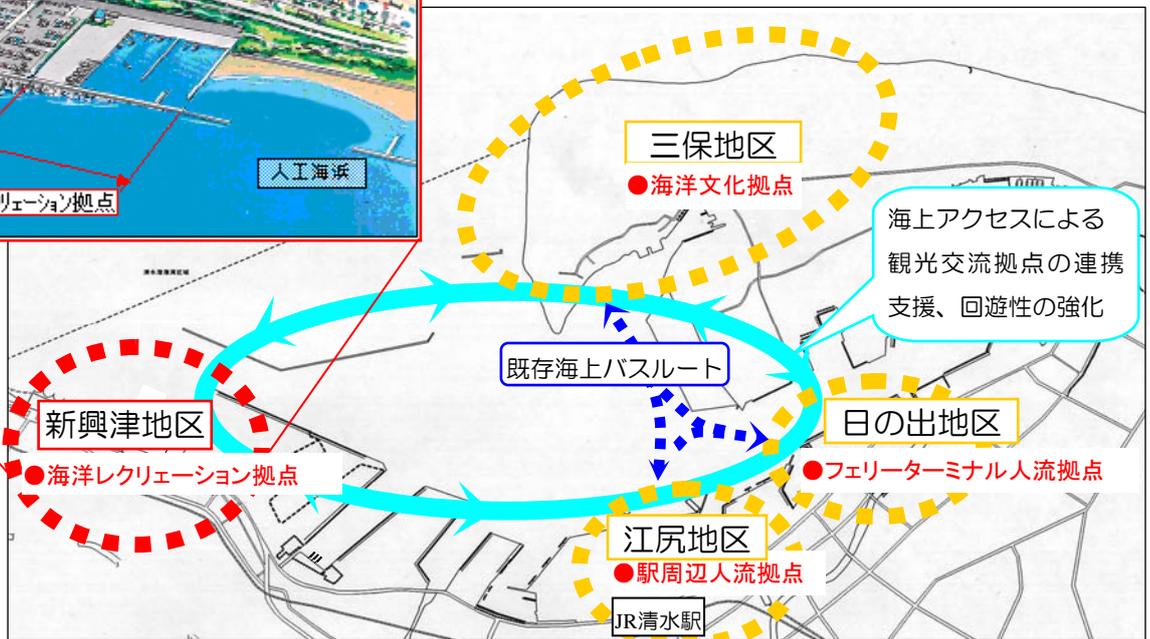
藤井敦清水港湾事務所長、富田英治中部地方整備局副局長、宮本卓次郎中部地方整備局港湾空港部長、仙崎達治中部地方整備局港湾計画課長

プロジェクトのご紹介！

清水港新興津地区 ～いきいき交流みなとまちづくり～



主な事業：小型船だまりの整備、海上交通ネットワークの構築
事業主体：静岡市、静岡県
事業年度：平成20年度～平成24年度
全体事業費：約24億円



新しい巡視船「ふじ」が御前崎港に配属されました

平成20年5月8日(木)に、巡視船「ふじ」が御前崎港に初入港しました。

「ふじ」は今年4月末に完成し、東京湾周辺海域での訓練を終えた後、今年3月末に横須賀海上保安部に配置換となった「あしたか」(180トン)の代わりとして、御前崎海上保安署に配属されました。

「ふじ」は、全長56mで総トン数335トンあり、巡視船としては中型ですが、速さは同クラスの中でも最速の35ノット(時速約65km)以上で航行することができ、夜間でも捜索監視が可能な赤外線装置や遠隔操作が可能な放水銃、20mm機関砲などが装備されています。

今後、遠州灘や駿河湾周辺の海の安心安全のために活躍することが期待されます。



御前崎港に入港した新造巡視船「ふじ」

「清水港・田子の浦港・御前崎港 危機管理メンバー合同会合」開催

平成20年5月12日(月)に、清水港・田子の浦港・御前崎港危機管理メンバー合同会合が開催されました。

この合同会合は、清水港、田子の浦港、御前崎港の港湾危機管理の連携強化を図るため、清水海上保安部長、並びに、清水・富士・菊川の各警察署長が港湾危機管理担当官となり、関係機関である海上保安部、警察、入国管理局、税関、運輸局、地方整備局、港湾管理者等で構成されています。

国際テロを始めとする国際組織犯罪等に対処するため、水際対策が重要との観点から、平成16年1月に内閣官房に「空港・港湾水際危機管理チーム」が設置され、これに基づき、国土交通省では、成田・関西空港に空港危機管理官を設置し、東京・横浜・名古屋・大阪・神戸港の五大港には港湾危機管理官を設置しました。これに準じ、清水港・田子の浦港・御前崎港においても、それぞれ港湾危機管理担当官等が設置されています。

今回の会合では、昨年9月に実施された清水港テロ対策訓練の結果や、今年7月に開催が予定されている北海道洞爺湖サミットの情勢についてなどの報告がありました。

本年秋には、田子の浦港において、テロを想定した合同訓練が実施される予定です。

地域づくり・人づくり講演会～「地域創造と港湾力」～

平成20年5月23日(金)に、大井川町文化会館ミュージコにおいて、平松守彦日本港湾振興団体連合会会長(前大分県知事)を講師に迎え、『地域創造と港湾力』と題して、地域づくり・人づくり講演会が開催されました。

平松氏は、「一村一品運動」の提唱者であり、講演会では、住民自らが地域の特産品を見つけ出し、その特産品を育てる人や地域を育てる「人づくり」「地域づくり」について創意工夫が必要であることや、特産品を国内だけでなく海外にもアピールするローカル外交についてなど、数々の一村一品運動の事例を紹介しました。

大井川町では、しょうゆ、そうめん、ミネラルウォーター、トマト、桜エビ、シラスなど、地元のブランドを育てています。

講演を聴き、その地域にある力を十分に発揮できるように、港の整備・利用を進めて行くことが必要であると感じました。



日本港湾振興団体連合会
会長 平松 守彦 氏

港うお(魚)ツチャー

タコ 編
(釣りバカカリチョー:監修)



この間、浜でカラまれちゃってさあ・・・。

清水みなとはそんな悪い土地柄じゃないでしょうよ。それじゃあ次郎長さんに顔向けできないよ。

ああ、そうじゃなくて、相手は「タコ」です。イカ釣りしたら仕掛に絡みついて、そのうえ地球にへばりついちゃったから、さあ大変。すごい力ですから、引っ張りすぎて地球の自転を狂わせてしまうんじゃないか心配だね。

ずいぶん、スケールの大きな釣りをしてますねえ、係長は。

いや～、そうでもないんだけどね～、エヘヘ。(本気にしちゃった係長)

それにしても、野球で無安打だとタコ、利益もないのに出した配当はタコ配当、欧米ではデビルフィッシュと言われて悪魔呼ばわりでは、あまりにいい印象がないのですが、低カロリーで高タンパク、おまけにタウリンが豊富。小豆色に煮上がった地タコはこの時期食するのに最適な食材なんですぞ。

マメ知識をひとつオマケ。

タコは、ウツボなどの外敵に襲われると自分の足を切り離して身を守る。切れた足は再生する「トカゲ式」ミラクル☆強いストレスが掛かると自分の足を食べちゃうって言われてて、だけどこれは再生しない。

不思議だね～、それは。

タコ釣りが盛んなのは、真崎灯台から三保防波堤周辺エリア。みなさん狙ってますよ～。

さっそく Let's enjoy fishing だ。ところで、タコって火星にはいないのかい？

その件につきましては係長、それっぽいものも含め、残念ながら未確認です。



大きさは、かわいらしい、片手サイズ。でも、吸いつく力はすごいんだ。

清水港第1回インポートバザール&第9回フラワーショーが開催されました。

今年も、清水港フラワーショーが開催され、5/31(土)と 6/1(日)の2日間で15,000人ももの来場者がありました。

今年も、第1回インポートバザールとして、エクアドルやネパールなどの輸入雑貨の販売や、輸入相談コーナーもあり、清水港の良さを、より一層皆様に知っていただけたと思います。

当事務所ブースでは、清水・御前崎・田子の浦・下田の各港の航空写真や、港の風景などの写真を展示しました。

展示写真をきっかけに、一般の方と話すことができ、皆様の港や当事務所に関する貴重なご意見を頂く良い機会となりました。

～これからも、みなさまからのご意見をお寄せ下さい～



最終日に開かれるフラワーオークションは大人気♪

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間: 9時～12時、13時～17時(土・日、祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■ 本誌に関するお問い合わせ先 ■
清水港湾事務所 企画調整課

太田・屋敷

TEL 054-352-4148

e-mail

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp